

活躍する中央OB・OG

第9回 **渡邊 隼人さん**
(平成16年度卒業)
山形警察署
留置管理課 留置管理係り 巡査

私は、平成16年度に鶴岡中央高校を卒業し、平成17年4月に山形県警察官を拝命しました。

山形県警察学校での初任教養を終え、現在、山形警察署留置管理課留置管理係巡査として勤務しています。

1年目は、山形警察署地域課地域係、いわゆる「交番」勤務に配置されました。仕事内容としては、落とし物の対応、遺失物の対応、地理案内(道案内)が主な仕事になります。また、地域パトロールも重要な仕事の一つで、各交番につき1台のパトカーがあり、地域パトロールを行っています。

警察官になるためには警察官B採用試験という公務員試験を受験し合格しなければなりません。公務員試験を合格するには、大学進学のためのセンター試験とは全く異なるもので、高校の授業だけでは足りません。そこで私は、高校3年次の夏休みを利用し、仙台で行われた、法律専門学校の夏期講習(1週間)に参加しました。そこでの学習は、公務員試験に合格するための内容です。問題の解き方を詳しく解説してくれるため、同じパターンの問題であれば解答することができるようになりました。

採用試験に合格し高校を卒業すると、まずは、警察学校への入校が待っています。山形県警察学校に10ヶ月間の初任教養期間として学びます。そこで警察官としての知識や体力を身につけ、組織や規律について学ぶこととなります。警備実施訓練は、どんな事件にも対処できるように訓練を行っています。また、体力の強化の訓練として1日10kmのランニングを1週間行います。とても厳しい訓練ですが、全寮制の生活で、同期生との絆も深まり、卒業するときには大きな達成感を味わうことができました。つらいことだけではなく楽しいこともあります。南3県の警察学校対抗でスポーツ大会も行っています。種目はサッカーとバスケットボール。他の行事として、文化祭もあります。

警察官という仕事は、実務においても1つの事件を解決すると達成感がありとてもやりがいのある仕事です。これから社会にでる高校生にとって、多くの道がありますが、1つの選択肢として参考になれば幸いです。



2008年スタート

今年は鶴岡中央高校



時代は中央

(第12号)

発行
山形県立鶴岡中央高等学校
校長 山田 陽介
発行日
平成20年5月30日

部活動紹介 第9回 卓球部

本校卓球部は、現在3年次生16名、2年次生12名、1年次生4名の計32名で活動しています。練習内容は主に、ロング、ショート、フットワークなどの基本練習からはじまり、自分の弱い部分や得意とするプレーを強化する、課題練習や多球練習などを行っています。大会前には、部内での試合を毎日行い、相手を試合相手に見据えお互い全力で闘志を燃やしながら臨みます。そして、他校との練習試合などで自分の力を確かめ、次につなげます。

顧問の先生は、東海林宏先生と布施好弘先生と黒坂裕子先生です。忙しい中練習に来て、アドバイスや時には練習相手をしていただいきとても熱心な先生方でした。

地区高校総体では、女子団体第2位と新人戦地区大会に続き、男女共に県大会出場をはたしました。シングルスでは男子、長南賢、布川晋太郎、女子では木村有紀がベスト8、ダブルスでは鶴巻・小林が第3位で県大会出場を決めました。

卓球部内は、お互いライバルとして自分の力を高めています。普段はとも楽しく仲がいいです。これからも部内全員の力でさらに上位を狙っていききたいと思います。



08春季地区総体 結果

体操
女子団体2位

サッカー
男子第3位
女子第3位

陸上男子

100m第1位 佐藤優太郎
200m第1位 佐藤優太郎 2位 金子
400m第1位 弁納
1500m第2位 斎藤 5000m第2位 斎藤
110m障害第1位 高橋迪俊
3000m障害第2位 和田
400mリレー第1位 (弁納・高橋・佐藤・五十嵐)
1600mリレー第2位
走り幅跳び第2位 五十嵐
砲丸投げ第2位 荒瀬
円盤投げ第1位 荒瀬

弓道

男子個人第2位 五十嵐
女子団体第1位 3位
女子個人第1位
本間李江子

ソフトボール
第3位

ウエイトリフティング
77kgトータル第1位
77kgスナッチ第3位
77kgジャーク第1位
藤原裕史

バドミントン

女子ダブルス第3位

柔道

女子48kg級 第2位 佐藤

卓球

女子団体第2位
ダブルス第3位
小林・鶴巻

剣道

男子団体第3位
女子団体第3位

ラグビー
第2位

陸上女子

100m第1位 榎本あずさ 2位 草島
200m第1位 榎本あずさ 2位 菅原
400m第1位 菅原さゆり 2位 斎藤
100m障害第3位 川井
400mリレー第2位
1600mリレー第1位 (川井・菅原・榎本・斎藤)
砲丸投げ第1位・円盤投げ第1位 奥泉舞

編集後記

2008年がスタートしました。今年は、この「時代は中央」を4回発行することを目標にしています。リアルタイムな情報発信とホームページとのリンクを充実させたいと考えています。

今号では、本校の取り組みとして「キャリア教育」を特集しました。

今後も本校ならではの特色などを校外に情報発信していきたいと考えています。

山形県立鶴岡中央高等学校

〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺日本国410
TEL 0235-25-5724

ホームページアドレス <http://www.tsuruokachuo-h.ed.jp>

メールアドレス kouhou@tsuruokachuo-h.ed.jp

(問合せ先)

広報担当: 井上 祐, 庄司 吉郎, 佐藤 佳奈

キャリア教育総合実践プログラムとは

生徒の進路をめぐる環境が大きく変化している中、「学ぶこと」「働くこと」への目的意識の低下、基本的なルールやマナーを大切にすることが未成熟であることなどが指摘されています。このような状況を背景に、学校教育活動全般を通して、生徒一人ひとりの意欲を高め、自己の将来の生き方を考えさせ、社会人・職業人として自立する力と態度を育てるキャリア教育が強く求められています。

本校では、県の「キャリア教育推進事業」に基づき、「キャリア教育総合実践プログラム」を作成しました。本校のように多様な生徒が多様な進路指導をもって入学してくる学校では、一人ひとりの「志」を確立させてこそ、周囲の雰囲気にならなず、自ら学習に取り組む気概のある生徒を育てることができます。また、「育てる力」を人間関係力、情報活用力、未来設計力、意志実行力の四領域に分類し、高校三年間の体系的な指導プログラムを実践することにより、進路実現に結実するものと考えます。

そこで、教職員の指導体制を確立し、保護者の支援を受け、地域の教育力の向上に資するために作成された「キャリア教育総合実践プログラム」の概要を説明します。

実践プログラム作成までの取り組み

2007年4月にキャリア教育推進委員会を発足し、その後、12回の委員会と11月の職員研修会を踏まえ、2008年2月の職員会議において、「キャリア教育総合実践プログラム」を提案し、承認されました。プログラムの作成においては、普通科の「未来探求」、総合学科の「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」の指導が、これまでも生徒に望ましい職業観と勤労観を育み、個々の生徒に自己の将来を展望させる上で大きな教育効果を発揮してきたことを踏まえ、これらの取り組みと進路指導課で企画する各種ガイダンスを軸とし、そこに各年次・課で行ってきた教育活動を加えて編成しました。また、本校の教育目標と一昨年より取り組んできた「将来ビジョン」検討の成果である「めざすべき学校像」「育てるべき生徒像」を活かし、それを基に生徒に育む4つの力と3年間の指導の流れを考えました。

今年度、作成した実践プログラムに沿ったキャリア教育を実施しながら、個々の活動や取り組みについて、実施後の評価を踏まえ、そのねらい、内容と方法・時期、他の取り組みとの関連性についての精査を続け、本校のキャリア教育にとってより実効性のあるものと改善が図られることが求められます。

鶴岡中央高校キャリア教育概念図

教育目標 **個性の尊重と調和・自主と自立・豊かな感性と輝くいのち**

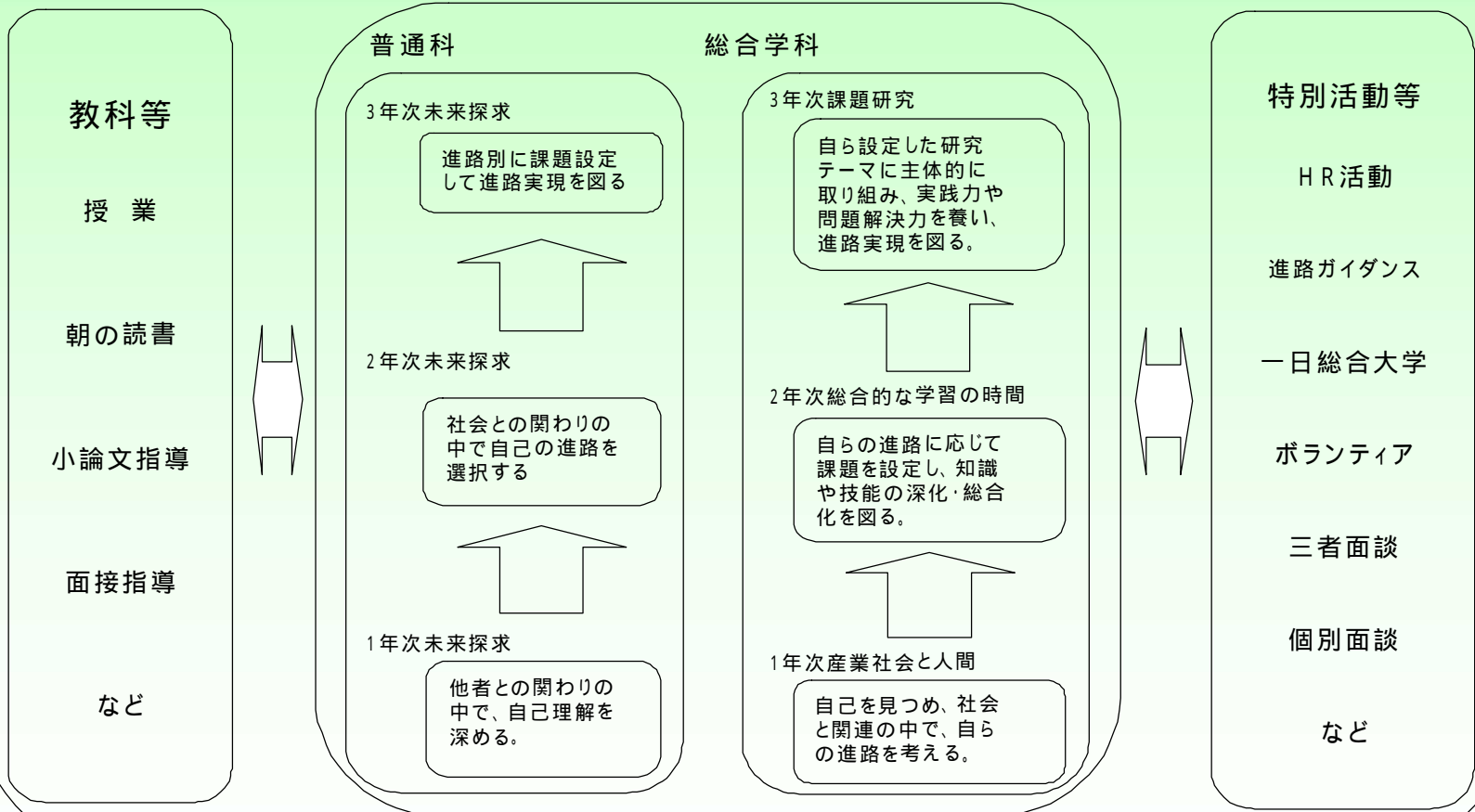
進路実現

めざす人間像 **志のために今やるべきことができる生徒**

育てる力 **人間関係力 未来設計力 情報活用力 意志実行力**

実践

生徒の志を育てる学校



評価

教職員 生徒 保護者 学校評議員

人間関係力
他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む。
自他の理解能力
自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にしていける能力。
コミュニケーション能力
多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていける能力。

情報活用力
学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択・創造に活かす。
情報収集・活用能力
進路や職業に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力。
職業理解能力
様々な体験を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力。

未来設計力
夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。
役割把握・認識能力
生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連性を理解し、自己の果たすべき役割等について認識を深めていく能力。
計画実行能力
目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力。

意志実行力
自らの意志と責任でより良い選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。
選択能力
様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力。
課題解決能力
意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力。